



## 本会記事

### ■「第54回プラズマ若手夏の学校」開催報告

第54回校長 富樫 央 (東京大学 新領域創成科学研究科)

今年度のプラズマ若手夏の学校は、2015年8月4日から7日の4日間、海と山が望める自然に囲まれた地、伊豆熱川の「熱川ハイツ」にて、日本原子力学会核融合工学部会夏季セミナーとの共催で行いました。今年の幹事校である東京大学の学生が主体となって運営し、学部から博士課程までの学生54名と講師9名の総勢63名が参加しました。以下に報告いたします。

#### 〈実施内容〉

これまでの夏の学校のプログラムに則り、様々な大学や研究機関から講師の先生方を募り、講義やポスターセッションなどを行いました。講義には補足資料としてカラーページのテキストを用意し、できるだけ基礎的かつ体系的な内容で、プラズマ物理・核融合学を幅広く扱うよう配慮しました(表1)。ポスター発表については、ポスターセッション期間以外の時間にも活発な議論を交わしてもらうよう、初日から最終日までポスターを掲載できるようなスペースを設けました(写真1)。また、前年度の夏の学校同様、学生参加型企画である「核融合 Wikipedia プロジェクト」を、京都大学の笠田竜太先生に行っていただきました。初めに笠田先生から核融合分野におけるアウトリーチ活動が不十分であることが示され、その後、Wikipediaの核融合関連項目を充実させる目的で、講義を聴いてわからなかった専門用語などについて参加者で議論し、その成果をまとめる作業を行いました(写真2)。これらに加え、宴会やBBQ、エクスカージョン(海水浴やバナナワニ園など自由行動)もあり、日々の研究生活に磨きをかけるとともに、

表1 講義内容一覧(敬称略)

洲鎌英雄 (NIFS)	MHD 平衡、不安定性、乱流・輸送
草野完也 (名大)	宇宙プラズマ
有川安信 (阪大)	レーザー核融合
金子俊郎 (東北大)	プラズマ応用
江尻 晶 (東大)	プラズマ計測
岡野邦彦 (慶応)	核融合原型炉
斎藤健二 (NIFS)	プラズマ加熱・電流駆動
杉本 誠 (JAEA)	ITER 工学
笠田竜太 (京大)	核融合 Wikipedia プロジェクト

同世代のつながりを築く有意義な4日間であったのではないかと思います(写真3)。

#### 〈昨年以前からの変更点〉

・開催時期について

この数年来、8月後半から9月前半に開催していましたが、それ以前に実施していた8月前半に戻しました。しかし、今年度から就職・採用活動開始時期が8月1日以降に

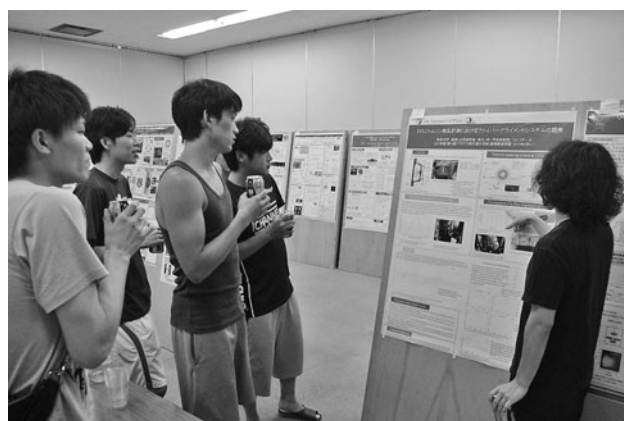


写真1. 宴会中の議論。



写真2. 核融合 Wikipedia プロジェクト企画。



写真3. BBQ での集合写真。

変更となったことが影響して、学部4年・修士2年の学生の参加者数が昨年度と比べ大幅に減ってしまいました。

・日本原子力学会核融合工学部会夏季セミナーとの共催について

「原子力学会との予算及び企画調整が苦勞した」という昨年度の報告を踏まえ、今回はプラズマ・核融合学会の予算、夏の学校のプログラムをベースに計画を立てました。これまでの原子力学会の夏季セミナーと比べると講義内容がややプラズマ寄りになってはいますが、共催による勞力をほとんど使わずに参加者数を底上げ（B4、M2の学生が減っても尚50人以上の参加者）でき、共催目的である夏の学校の活性化に繋がりました。

・ITER 経験者からのキャリアアドバイス会合

夏の学校の閉校式後に、そのまま同じ会場をつかって、核融合エネルギーフォーラム若手幹事団による標記会合が開催されました。その一環として、夏の学校の最終日に核融合科学研究所の西村新先生に講演を賜りました。夏の学校と本会合の両方への参加者があったことなどから、同じ会場での開催は有意義だったと思われます。

〈次年以降の開催にあたって〉

夏の学校の運営で最も苦勞したことは、毎年のことだとは思いますが、参加者を募ることです。毎年、申込期日を延長することが当たり前のように感じているように感じたため、募集する際に延長しない旨を記載したのですが、予想以上に参加者の集まりが悪かったため、結局期日を延長せざるを得ませんでした。「プラズマを研究している研究室を調べ、その先生方へ問い合わせる」などの策により、延長後に参加者を増やすことができましたが、前述の理由等で54名に留まりました。他の研究会や大学の授業、就職活動の日程などを考慮して、最適だと思われる開催日を決定することが参加者を募る上で重要だと感じました。

最後に、ご多忙中にも関わらずテキストの作成及びご講演をいただきました講師の先生方、参加者及びスタッフの皆様の多大なる協力により、無事成功裡に終わることができましたことを、この場を借りて御礼申し上げます。

次回第55回プラズマ若手夏の学校は2016年夏、筑波大学の主催で行われる予定です。

